



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院

vol.12

新年 明けましておめでとござい
ます。旧年中は明野中央病院を利
用いただき誠にありがとうございました。
振り返れば、昨年はいろいろな意
味で長い間「絶対」と思われていた
「常識」がくつがえされた1年でした。
日本の政権与党といえは自民党。50
年以上続いたこの常識が8月の衆議
院選挙であつという間にくずれ、3
00議席以上を占めて民主党が圧勝
しました。航空業界でも数年前まで
は世界で最もサービスの良い航空会
社の一つとされ、日本の空の顔として
自他ともに認められていた日本航空
が経営危機に陥りました。また、捜
査の決め手として用いられた数十年
前のDNA鑑定が証拠として採用さ
れ、自己の強要につながり、実は冤罪
を生み出していたというショックン
グな事実も明らかになりました。い

ずれも数年前までは全く予想できな
い出来事でした。しかし、これらの
事実もよく考えてみれば今年突然降つ
て沸いた変化ではありません。原因
の多くの部分は、以前より旧態依然
として続いてきた古い考え方や慣習
を変えようとしてこなかったことに
あるのではないかと思います。
さて、医療崩壊という言葉が叫ば
れてもう数年になります。民主党は
”コンクリートから人へ”のスロー
ガンをもとに医療費（診療報酬）を
1・2倍増やすことを選挙前の公約
として掲げましたが、現実には財務
省が財政難を理由に医療費の増大に
頑固に抵抗しています。旧態依然の
考えにそった社会保障費の削減が医
療崩壊の一因であることは十分に理
解されていると思いますが、これでは
医療崩壊ならぬ医療破壊となり、
”日本の医療制度は世界一”の常識

今年も明野中
央病院をどうぞ
宜しく願いま
す。

今年も明野中
央病院をどうぞ
宜しく願いま
す。

がくずれるのもそう遠くないでしょ
う。国、行政の迅速な対応を願いた
いと思います。
当院は昨年、麻酔科常勤医師の森
正和、こつ・かんせつ・リウマチセ
ンター長として整形外科常勤医師の
藤川陽祐が新たに着任し、整形外科
の専門的治療や手術の安全性を飛躍
的に向上できたと思います。昨年10
月にはあけのアクロスタウンにて健
康セミナーを開催し、多くの地域の
皆様と交流できました。また、当院
ボランティア会の企画による新春落
語、ティーパーティ、クリスマス会
を始め多くの行事を開催していただ
きました。



▲綺麗なウッドデッキを準備してお客様のお迎え準備もバッチリです。

10月30日、秋のガーデンティーパー
ティーをボランティア会の主催で開催
しました。
入院患者さんやお見舞いの方など
沢山の方にお越しいただき、大盛況
となりました。
コーヒーや抹茶に加え、今回は新
たに中国茶を追加しました。ボラン
ティアの方も、患者さんから「おい
しかったです」「珍しいお茶やコーヒ
ーが多いですね」などの感想を頂きな
がら楽しくお茶を入れていたよつです。
病気で入院されている中、少しで
も患者さんやご家族の方が楽しい心
休まる時間を過ごしていただけたら
幸いです。



2階ウッドデッキテラスにはボラ
ンティアの方々が育てた四季折々の花
が咲いています。傍らの「花日記」
には多くの書き込みが...。

▲素敵なウッドデッキです。入院中は退
屈しがちですが、こういうウッドデッキ
があると大変癒されます。

▲車椅子で生活している子供が「外の空
気が吸いたい」というのでウッドデッキ
に連れて行くこと気持ちよさそうに過ご
していました。手入れは大変ですが、が
んばってください。

▲コスモスがとてもきれいでした。さわつ
てみるとやわらかくてよいにおいがし
ました。



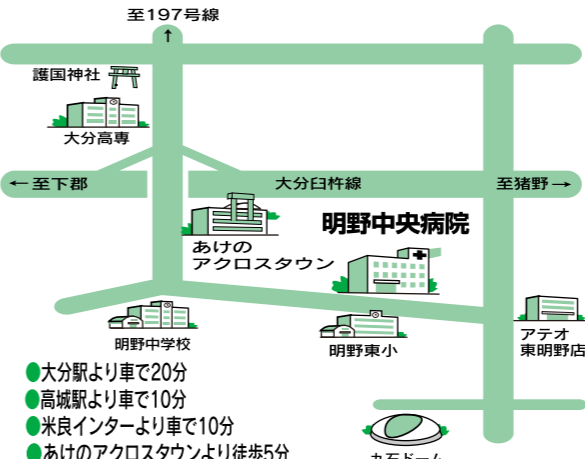
INFORMATION

診療科目	受付時間
内科・外科・消化器科・肛門科 リウマチ科・整形外科・形成外科 リハビリテーション科 麻酔科(森 正和)	月曜日～金曜日 8:30～11:30 14:00～17:30 土曜日 8:30～11:30 日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

- 基本方針
- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
 - 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
 - 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
 - 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
 - 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます



医療法人社団 唱和会

明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2010年1月
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211(代表) FAX097-558-3709
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp
http://www.coara.or.jp/~akenohp/

明野中央病院健康セミナーを開催

10月12日 あけのアカロスタウンにて明野中央病院健康セミナー「骨と関節とリウマチの話」を開催し、連休最終日にもかかわらず500名を超える多くの方々にご来場いただき、無事に盛会に開催できました。

講師に当院こつ・かんせつ・リウマチセンター長の藤川陽祐、サイクルライフナビゲーターで健康管理士の絹代さん、沖縄在住の歌手砂川恵理歌さん、織部リウマチ科内科クリニック院長の織部元廣先生を迎え、短い時間の中に様々な内容を盛り込みました。



▲多くの皆様のご参加をいただきました。

当院こつ・かんせつ・リウマチセンター長の藤川陽祐は「骨と関節の話」をテーマに、骨が作られるしくみや骨粗鬆症、変形性関節症の発生メカニズムとその治療法、日常での注意点などについてスライドを示しながら説明しました。

サイクルライフナビゲーターで健康管理士の絹代さんは「自転車健康作り」をテーマに、実際にステージ上で自転車に乗り、自転車がか心と体の健康に与える効果や自身の日頃の自転車ライフの楽しみ方について話してくれました。



▲シンポジウムでは、会場から各ゲストへの質問もたくさんいただき、ステージと会場が一体となった充実した時間となりました。

3人目の砂川恵理歌さんは、「一粒の種になっても生きていたい」というある癌患者の最期の言葉が詩になってきた「一粒の種」という歌を全国に広める活動をしている沖縄在住の歌手。日本各地の医療施設や学校などでチャリティーコンサートと花の種をプレゼントする「スマイル・シード・プロジェクト」を展開中です。介護職としての仕事も経験した砂川さんの穏やかで伸びやかな声が聴衆を魅了しました。

4人目は織部リウマチ科内科クリニック院長の織部元廣先生が登場。患者さんにはおなじみの落ち着いた優しい声で、時折ユーモアも交えながらご自身の経験やリウマチ疾患の概論、特に近年の治療法の目覚ましい進歩、日常での注意点など興味深い話をしていただきました。

最後はステージと会場の皆様一緒に織部先生のギターに合わせて歌を合唱しました。

お忙しい中ご来場いただいた皆様、準備段階からご指導、ご協力いただいた皆様にご礼申し上げます。今回のセミナーを通じて、地域の皆様の日頃の健康作りにも少しでもお役に立てたらうれしく思います。

砂川恵理歌さんミニコンサート開催

健康セミナーに先立ち、当日会場に行けない当院の入院患者さんのために、リハビリテーションセンターを即席ライブハウスに模様替えし、砂川恵理歌さんのミニコンサートを行いました。

ボランティアの方々にもご参加いただき、入院患者さん約50名が砂川さんの素敵な歌声と楽しいお話で秋の休日のひとつを過ごしました。コンサートの終了後、ヒマワリの可愛い種をいただきました。種はボランティア会の方に預け、当院の花壇に植えてもらうようお願いしました。大切に育て、たくさんの方が増えていくことを祈っています。




▲綺麗な歌声と楽しいお話。素敵な時間を過ごしました。

日本リハビリテーション医学会 研修施設に認定

このたび当院は、社団法人日本リハビリテーション医学会の研修施設に認定されました。医師がリハビリテーションに関する専門性を高めるための研修を行なうことができる施設であり、リハビリテーション科を診療科として標榜し、指導責任者が常勤していること、研修を行なうための十分な教育体制がありリハビリテーションに関する教育や研究活動が行なわれていることが認定の条件となっています。今回、研修施設の認定と同時に当院副院長、中村英次郎が指導責任者に認定されました。今後とも、若く優秀な専門医の養成と県内のリハビリテーション医学の発展に貢献できればと願っています。

▼日本リハビリテーション医学会ホームページ
<http://www.jarm.or.jp/>

プロフィール	
	<p>日本リハビリテーション医学会専門医 研修施設 指導責任者</p> <p>副院長 中村 英次郎</p> <p>日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会脊髄神経病医・日本整形外科学会リウマチ医・日本整形外科学会運動器リハビリテーション医・日本脊髄神経学会指導医・日本リウマチ学会専門医・日本体育協会公認スポーツドクター・日本手の外科学会専門医</p>

血液製剤・輸血についての勉強会を実施

11月13日、大分県赤十字血液センターより講師の先生をお招きし、血液製剤と自己血輸血についての勉強会を実施しました。



血液製剤については、実際起こった事故事例の検証と3種類の血液製剤について「温度管理」「有効期限」「使用不可の判断基準」の内容を中心に学び、自己血輸血では、事前準備や機器の取り扱い、消毒方法について説明があり、特に採血中の患者さんへの負担軽減の対策について看護師を中心に多くの質問が出ていました。



▲安全管理部長の奥野より当院の運用と今後の課題について総評。

2009年クリスマス会を行いました

12月5日、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。

「フラダンス」「踊り」「民謡」「ひよっこ踊り」「合唱」など、全てボランティア会が中心となり、企画・出演交渉をしていただきました。フラダンスは、今年は踊りを見るだけでなく、曲目『月の夜』を会場の皆さんと一緒に踊りました。踊りの振り付け一つ一つにも意味があり、解説を交えながら踊ると簡単に楽しく踊ることができました。入院患者さんやそのご家族、そして地域の皆様が体を動かし、心を動かして素敵なクリスマス会のひと時を過ごしました。皆様のご協力に心から感謝いたします。



▲会場みんなで合唱です。元気いっぱいクリスマスソングを歌いました。

日本リハビリテーション医学会
認定証
明野中央病院 殿
貴施設を社団法人日本リハビリテーション医学会研修施設として認定します

認定番号 第119683号
認定期間 自2009年11月28日
至2015年3月31日
2009年11月28日

社団法人 日本リハビリテーション医学会
理事長 里宇 明元

日本リハビリテーション医学会
認定証
中村 英次郎 殿
貴施設を社団法人日本リハビリテーション医学会
指導責任者として認定します

登録番号 第90935号

認定期間 自2009年11月28日
認定期間 至2015年3月31日
2009年11月28日

社団法人 日本リハビリテーション医学会
理事長 里宇 明元